

「奥田の歴史を知ろう」

私たちのふるさと知多奥田

大昔はどんな様子だったんだろう？

どんな暮らしをしていたんだろう？

皆さん、一緒に考えてみませんか

記

- | | |
|------|-------------------------------------|
| ☆日時 | ・ 1回目 平成27年7月 4日 (土) 午後7時00分 |
| ☆内容 | 「古代から中世・近世の奥田」 |
| 裏面参照 | ・ 2回目 平成27年7月11日 (土) 午後7時00分 |
| | 「奥田の名所・旧跡」 |

☆場所 奥田公民館2階ホール

☆講師 夏目 安敏 先生 (美浜ふるさと研究会会長)

☆定員 一般成人40名

☆受講料 200円 (当日いただきます)



☆申し込み：参加ご希望の方は、下記へ電話でお申し込み下さい。

<申し込み期間 6/1 から 6/25 まで>

・美浜町生涯学習センター TEL 0569-82-6464 (月曜 休館日)

*問い合わせ先 : 奥田公民館活動運営委員 廣重

TEL 0569-87-1384 or 090-1416-0348

☆ 奥田のむかしを振り返る

今年、昭和 30 年に河和町と野間町が合併して美浜町となり、60 年（上野間地区は昭和 32 年）の節目の年。

大昔、先人の足跡は古く、奥田の坪山遺跡では標高 30m の丘陵頂上から約 7000 年前の縄文早期遺跡が発見されている。

奈良・平安時代には、北奥田海岸から土器製塩遺跡が見つかり、また、今の大己貴神社付近に奥田廃寺という古刹の存在が知られる。

平安末期は、野間内海庄（上野間から内海）に属し、主に稲作中心の生活であった。

戦国時代になると、今の知多奥田駅北、谷トンネルがある通称・城山に水野日向守勝成の城である奥田城があった。

近世までは、北奥田村・南奥田村に分かれており、黒鍬などの出稼ぎも行ってた。

明治 11 年の郡区町村編成法により奥田村となった。現代になると、苧織りや養蚕（蚕紙）業が盛んになり、戦後には海苔の養殖が盛んになった。この奥田には、その他にも、たくさんのお名所旧跡・伝承や物語も残っている。

近年、福祉大学の移転により、地域の生活も考え方も変化しつつある。

（美浜町町誌等より）

温故知新——この講座を通して、奥田の昔を知り、

これからの奥田を考える機会となれば

講師師：夏目安敏先生のプロフィール

昭和 7 年野間の生まれ。昭和 27 年愛知学芸大学卒。野間中学校で 14 年教鞭。その後知多管内小中学校・知多教育事務所に合計 40 年間勤務。豊浜小学校長で退職。その後、一色区長・美浜町文化財保護委員長などを歴任され、現在、美浜ふるさと研究会会長として郷土の歴史の掘り起こしに取り組んでおられます。